

平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月6日

上場会社名 宝ホールディングス株式会社
 コード番号 2531 URL <https://www.takara.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 睦
 問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 掛見 卓也

TEL 075-241-5124

四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	133,987	4.0	8,159	33.1	8,243	32.9	4,578	32.8
30年3月期第2四半期	128,855	19.9	6,128	17.7	6,200	10.4	3,447	8.5

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 2,924百万円 (36.0%) 30年3月期第2四半期 4,572百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	22.94	
30年3月期第2四半期	17.13	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	281,851	175,637	51.3
30年3月期	284,281	176,217	51.0

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 144,601百万円 30年3月期 145,111百万円

平成31年3月期の期首より「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等の適用による表示方法の変更を行いましたため、平成30年3月期の連結財政状態は、当該変更を反映した遡及修正後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期				16.00	16.00
31年3月期					
31年3月期(予想)				18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	280,000	4.4	17,300	10.8	17,900	11.3	10,000	9.3	50.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	201,699,743 株	30年3月期	201,699,743 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	2,069,555 株	30年3月期	2,069,224 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	199,630,369 株	30年3月期2Q	201,223,863 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。なお、連結業績予想の詳細及びセグメント別の業績予想につきましては、「決算短信補足資料」内(PAGE10/15～13/15)に記載しております。

当社は平成30年11月8日(木)に機関投資家・証券アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、説明会終了後遅滞なく当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	10
○ 第2四半期決算短信補足資料	

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調が継続しておりますが、米国発の貿易摩擦の激化や原油・原材料価格の上昇などもあり、依然として先行きが不透明な状況です。

このような経済状況のもと、当社グループは、長期経営ビジョン「宝グループ・ビジョン2020」の達成に向けた最終ステップとしての「宝グループ中期経営計画2019」のもと、海外売上高比率をさらに高めるとともに、国内外で抜け・モレのない商品と競争優位性をもった商品を多数持つことで、他社に勝てる分野を数多く築き上げ、どんな環境変化が起ころうとも収益を大きく伸ばさせることができるバランスのとれた事業基盤を確立することを目指し、着実な事業活動に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高133,987百万円（前年同期比104.0%）、売上総利益52,655百万円（前年同期比106.5%）、営業利益8,159百万円（前年同期比133.1%）、経常利益8,243百万円（前年同期比132.9%）、親会社株主に帰属する四半期純利益4,578百万円（前年同期比132.8%）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[宝酒造]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、酒類では、焼酎や清酒は減少いたしました。ソフトアルコール飲料は、引き続き“タカラ「焼酎ハイボール」”が好調に推移いたしましたので、酒類全体の売上高は増加いたしました。

調味料は、みりんの減少などにより減少いたしました。原料用アルコール等では、工業用アルコールなどが好調に推移しましたので増加いたしました。

以上の結果、宝酒造の売上高は、73,259百万円（前年同期比101.8%）となりました。売上原価は、44,144百万円（前年同期比101.8%）となりましたので、売上総利益は、29,115百万円（前年同期比101.8%）となりました。販売費及び一般管理費は、運送費や販売促進費などの増加により、26,839百万円（前年同期比100.8%）となりましたので、営業利益は、2,275百万円（前年同期比114.3%）となりました。

[宝酒造インターナショナルグループ]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、FOODEX S.A.S.（仏国）やMutual Trading Co., Inc.（米国）などの海外日本食材卸事業が好調に推移しましたので、37,527百万円（前年同期比111.0%）となりました。売上原価は、26,329百万円（前年同期比110.4%）となりましたので、売上総利益は、11,197百万円（前年同期比112.2%）となりました。販売費及び一般管理費は、人件費や運送費などの増加により8,762百万円（前年同期比113.0%）となりましたので、営業利益は、2,434百万円（前年同期比109.5%）となりました。

[タカラバイオグループ]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、主力の研究用試薬が増加したことに加え、日本におけるNY-ESO-1・siTCR*遺伝子治療薬およびCD19・CAR遺伝子治療薬に関する共同開発・独占販売契約にかかる対価料の受領等により、17,370百万円（前年同期比123.0%）となりました。売上原価は、売上高の増加により、7,049百万円（前年同期比118.2%）となりましたので、売上総利益は、10,321百万円（前年同期比126.5%）となりました。販売費及び一般管理費は、人件費等が増加し、7,697百万円（前年同期比103.0%）となりましたので、営業利益は、2,623百万円（前年同期比380.9%）となりました。

[その他]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前連結会計年度中にタカラ長運株式会社の株式を売却したことに伴い、同社を連結の範囲から除外した影響などにより、16,071百万円（前年同期比83.5%）となりました。売上原価は、13,567百万円（前年同期比84.3%）となりましたので、売上総利益は、2,503百万円（前年同期比79.3%）となりました。販売費及び一般管理費は、1,548百万円（前年同期比86.7%）となりましたので、営業利益は955百万円（前年同期比69.6%）となりました。

品種別販売実績

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	前年 同期比
	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
宝酒造			
焼酎	27,340	26,779	97.9
清酒	8,619	8,400	97.5
ソフトアルコール飲料	17,599	19,686	111.9
その他酒類	3,160	3,185	100.8
酒類計	56,719	58,050	102.3
本みりん	6,735	6,469	96.1
その他調味料	4,703	4,659	99.1
調味料計	11,439	11,129	97.3
原料用アルコール等	3,814	4,079	106.9
計	71,973	73,259	101.8
宝酒造インターナショナルグループ			
海外酒類	5,055	5,044	99.8
海外日本食材卸	29,694	33,459	112.7
その他	21	36	167.4
グループ内連結消去	△949	△1,013	—
計	33,822	37,527	111.0
タカラバイオグループ	14,126	17,370	123.0
報告セグメント計	119,922	128,157	106.9
その他	19,246	16,071	83.5
セグメント計	139,168	144,228	103.6
事業セグメントに配分していない 収益およびセグメント間取引消去	△10,312	△10,241	—
合計	128,855	133,987	104.0

(注) 販売金額には酒税を含んでおりますが、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は170,374百万円となり、前連結会計年度末に比べ693百万円減少いたしました。これは主に、有価証券が7,420百万円減少し、現金及び預金が2,222百万円、受取手形及び売掛金が1,599百万円、商品及び製品が1,122百万円、前払費用などの増加により流動資産その他が1,324百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は111,476百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,737百万円減少いたしました。これは主に、無形固定資産が1,560百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、281,851百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,430百万円減少いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は55,989百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,277百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金固定負債からの振替などにより4,888百万円、未払酒税が1,747百万円それぞれ増加し、未払法人税等が1,564百万円、未払金などの減少により流動負債その他が1,536百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は50,223百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,128百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が5,192百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、106,213百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,851百万円減少いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は175,637百万円となり、前連結会計年度末に比べ579百万円減少いたしました。これは主に、為替換算調整勘定が2,342百万円減少し、利益剰余金が1,384百万円、繰延ヘッジ損益が330百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は51.3%（前連結会計年度末は51.0%）となりました。

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益7,972百万円、減価償却費3,183百万円、売上債権の増加2,108百万円、たな卸資産の増加2,566百万円、未払酒税の増加1,747百万円、法人税等の支払額4,543百万円などにより、4,140百万円の収入と、前年同期に比べ971百万円の収入増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出3,956百万円などにより、4,653百万円の支出と、前年同期に比べ12,465百万円の支出減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額3,187百万円などにより、3,851百万円の支出（前年同期は1,931百万円の収入）となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物に係る換算差額を含めた当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より5,109百万円減少し、44,231百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績および直近の状況を踏まえ、平成30年5月11日に公表いたしました業績予想を修正しております。

売上高は、タカラバイオグループにおいて、遺伝子医療事業が計画を上回る見込みであります。バイオ産業支援事業および医食品バイオ事業が計画未達となる見込みであること、および連結子会社の宝ヘルスケア株式会社を連結の範囲から除外することなどにより、期初予想より2,000百万円下方修正しております。

利益面につきましては、売上高の計画未達にともない売上総利益は計画を下回るものの、販売費及び一般管理費の圧縮につとめることにより、営業利益および経常利益につきましては、期初予想を据え置いております。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、特別利益に係る会社株式売却益を計上する見込みであることなどにより、期初予想より400百万円上方修正しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,754	49,977
受取手形及び売掛金	57,889	59,489
有価証券	19,721	12,301
商品及び製品	37,979	39,102
仕掛品	997	1,465
原材料及び貯蔵品	3,932	3,897
その他	3,122	4,446
貸倒引当金	△329	△305
流動資産合計	171,067	170,374
固定資産		
有形固定資産	57,485	56,883
無形固定資産		
のれん	13,765	12,851
その他	8,504	7,857
無形固定資産合計	22,269	20,709
投資その他の資産		
投資有価証券	28,607	28,728
その他	4,928	5,223
貸倒引当金	△77	△68
投資その他の資産合計	33,458	33,883
固定資産合計	113,213	111,476
資産合計	284,281	281,851
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,544	16,268
短期借入金	5,221	10,109
未払酒税	9,278	11,025
未払費用	5,639	5,335
未払法人税等	3,126	1,562
賞与引当金	2,286	2,654
その他の引当金	2,078	2,032
その他	8,535	6,998
流動負債合計	52,712	55,989
固定負債		
社債	25,000	25,000
長期借入金	10,620	5,428
退職給付に係る負債	8,759	8,836
長期預り金	5,312	5,348
その他	5,659	5,610
固定負債合計	55,352	50,223
負債合計	108,064	106,213

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	2,219	2,262
利益剰余金	117,571	118,955
自己株式	△1,367	△1,367
株主資本合計	131,649	133,077
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,520	11,598
繰延ヘッジ損益	△120	209
為替換算調整勘定	2,645	302
退職給付に係る調整累計額	△583	△587
その他の包括利益累計額合計	13,461	11,523
非支配株主持分	31,106	31,036
純資産合計	176,217	175,637
負債純資産合計	284,281	281,851

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	128,855	133,987
売上原価	79,401	81,332
売上総利益	49,454	52,655
販売費及び一般管理費	43,326	44,495
営業利益	6,128	8,159
営業外収益		
受取配当金	291	312
その他	384	293
営業外収益合計	675	605
営業外費用		
支払利息	325	182
その他	276	338
営業外費用合計	602	521
経常利益	6,200	8,243
特別利益		
固定資産売却益	13	2
投資有価証券売却益	160	—
貸倒引当金戻入額	—	4
その他	—	0
特別利益合計	173	7
特別損失		
固定資産除売却損	59	99
災害による損失	—	137
その他	1	41
特別損失合計	61	278
税金等調整前四半期純利益	6,313	7,972
法人税、住民税及び事業税	2,351	2,659
法人税等調整額	108	△195
法人税等合計	2,459	2,464
四半期純利益	3,853	5,508
非支配株主に帰属する四半期純利益	405	930
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,447	4,578

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	3,853	5,508
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,482	78
繰延ヘッジ損益	191	323
為替換算調整勘定	△980	△2,989
退職給付に係る調整額	25	2
その他の包括利益合計	719	△2,584
四半期包括利益	4,572	2,924
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,549	2,641
非支配株主に係る四半期包括利益	23	283

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,313	7,972
減価償却費	3,157	3,183
のれん償却額	407	429
受取利息及び受取配当金	△373	△402
支払利息	325	182
災害損失	—	137
売上債権の増減額 (△は増加)	△838	△2,108
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,162	△2,566
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,380	5
未払酒税の増減額 (△は減少)	2,794	1,747
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△1,295	△292
その他	△365	188
小計	6,583	8,477
利息及び配当金の受取額	393	399
利息の支払額	△322	△193
法人税等の支払額	△3,485	△4,543
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,169	4,140
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6,460	△4,632
定期預金の払戻による収入	6,014	3,917
有価証券の取得による支出	△3,751	△5,190
有価証券の売却及び償還による収入	2,474	5,711
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,868	△3,956
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△12,396	—
その他	868	△502
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,118	△4,653
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	14,887	—
社債の償還による支出	△10,000	—
配当金の支払額	△2,612	△3,187
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△181	△82
その他	△163	△581
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,931	△3,851
現金及び現金同等物に係る換算差額	△682	△744
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△12,701	△5,109
現金及び現金同等物の期首残高	58,765	49,341
現金及び現金同等物の四半期末残高	46,063	44,231

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	71,818	33,618	13,772	119,208	9,646	128,855	0	128,855
セグメント間の内部 売上高又は振替高	155	204	354	713	9,599	10,312	△10,312	—
計	71,973	33,822	14,126	119,922	19,246	139,168	△10,312	128,855
セグメント利益	1,991	2,223	688	4,904	1,371	6,275	△147	6,128

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の不動産賃貸事業及び国内グループ会社の物流事業等であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した業務受託収入であります。

(2) セグメント利益は、セグメント間取引消去16百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△163百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「タカラバイオグループ」セグメントにおいて、タカラバイオ株式会社の100%子会社であるTakara Bio USA Holdings Inc.がWaferGen Bio-systems, Inc.およびRubicon Genomics, Inc.の株式を取得したことにより、のれんを計上しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては7,713百万円であります。なお、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	72,908	37,358	17,122	127,389	6,597	133,987	0	133,987
セグメント間の内部 売上高又は振替高	351	168	248	767	9,474	10,241	△10,241	—
計	73,259	37,527	17,370	128,157	16,071	144,228	△10,241	133,987
セグメント利益	2,275	2,434	2,623	7,334	955	8,289	△129	8,159

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の不動産賃貸事業及び国内グループ会社の物流事業等であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した業務受託収入であります。

(2) セグメント利益は、セグメント間取引消去13百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△143百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。